

おおだて 病院だより

市立総合病院・市立扇田病院

第37号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2022.8

No. 37

発行者：大館市病院事業管理者 吉原 秀一
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1（総合）
大館市比内町扇田字本道端7-1（扇田）
電話：0186-42-5370（総合） 0186-55-1255（扇田）
URL：<https://www.odate-hp.odate.akita.jp>（総合）
<http://www.oogita-hp.jp>（扇田）
印刷：(有)菅原印刷



夏休みの校庭では、真夏の陽射しを浴びて大きく育ったヒマワリが
子どもたちとの再会を心待ちにしているようでした

（写真提供：釈迦内小学校）



大館市病院事業管理者
市立総合病院長

吉原 秀一
よし はら しゅういち

今年の夏も地球温暖化の影響のためきびしい猛暑となりそうです。電気料金も値上がり傾向ですが、気温上昇時など必要なときにはしっかりと冷房を使用するなど熱中症対策をしていただけだと思います。特にご高齢のかたは暑い寒いが感じにくくなり、更に発汗機能なども衰えるため知らないうちに熱中症に陥るかたが少なくありません。したがって、この時期にはあまり暑いと感じなくても部屋の温度をこまめに確認し、摂氏27度以下になるようにしていただければと思います。また、新型コロナウイルス感染対策のためマスク着用が多くの場所で求められています。また、マスク着用が必要でない場所や自宅ではマスクをしないことも重要です。また、今年の夏は各種夏祭りが開催予定ですが、参加の際には一定の距離を保って、マスクなどの防護策を講じて参加すればあまり恐れることはないと思います。むしろ危険なのはお祭り前後の限られた空間での集まりで、お祭りの後の懇親は楽しいものですが今年は今しばらく我慢していただければと思います。

当院では現在新型コロナウイルス感染者の減少から、新型コロナウイルス対応も一段落の状態ですが常に警戒を怠らず対応しているところです。第7波、第8波は必ずくるものと考え市民の皆様との協力とともに対策を講じていきたいと思っています。新型コロナウイルスの数次に渡る変異株の出現で徐々に感染力が強くなっていますが、一方でその重症度は低下しているように思われます。したがって新型コロナウイルス対策も今後変化していく可能性が高いのですが、今しばらくは現在の体制を継続していきたいと思っています。また、ワクチン接種も8月9月10月と当院並びにニプロハチ公ドームで実施予定ですので接種希望のかたは来ていただければと思います。

今年の夏も新型コロナウイルス感染を「正しく恐れて」、日常生活を維持していただければと思います。

「患者さんの権利」を見直しました

1. 公平かつ平等な医療を受ける権利

患者さんは、どのような病気であっても、公平かつ平等な最善の医療を受ける権利があります。

2. 尊厳を尊重される権利

患者さんは、常に人間としての尊厳を尊重された医療を受ける権利があります。

3. 十分な説明を受ける権利

患者さんは、ご自身の病気についての病状、治療方法、危険性、治療経過や見通しなどについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。

4. 自己決定の権利

患者さんは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒否する権利があります。

5. 情報を知る権利

患者さんは、ご自身の治療、看護の内容および経過についての情報を受ける権利、診療に関する記録情報の開示を求める権利があります。

6. 他の医師の意見を聞く権利

患者さんは、ご自身が受けている医療について、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利があります。

7. 個人情報を守られる権利

患者さんは、医療上得られた個人の情報やプライバシーを守られる権利があります。

総合病院の「患者さんの権利」は、「理念と基本方針」とともに平成29年5月に制定されました。この度、患者さんの基本的な権利をより明確に、よりわかりやすい内容となるよう見直しを行いました。今後も、当院の理念である「患者さんが安心と満足を得られる医療」を目指し、職員一同取り組んでまいります。

～ 在宅介護をされている皆さまへ～



ご家族の介護疲れ



冠婚葬祭



ご家族の旅行や出張



ご家族の急な入院

そんな時は…『レスパイト入院』をご利用ください！

レスパイトとは 《「休息」・「小休止」・「息抜き」》といった意味です。

総合病院では、高齢者などの在宅介護をされている方が一時的に介護から解放され、休息がとれるよう支援を行います。

ご利用までの流れ

1) 申込対象者

- ・自宅で療養されているかたが対象です。
- ・要支援・要介護度の程度は問いません。
- ・原則2週間程度の入院期間です。

2) 申込方法

- ・かかりつけ医、ケアマネージャー、訪問看護ステーション看護師にご相談ください。(ご相談できるスタッフが不在の場合は下記にお問い合わせください)
- ・可能であれば、入院希望日の1週間前までにご相談ください。

3) 申込書の提出・受付・審査

- ・当院のスタッフで審査を行い、速やかに入院手続きを行います。

4) 入院

- ・地域包括ケア病棟での療養となります。
- ・原則として在宅療養で行われていた介護処置を継続します。



◎介護をされるかたが疲れきってしまっても大変です。総合病院では、短期間ですが心と体がリフレッシュできるようお手伝いします。

詳しくは、下記までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

大館市立総合病院『患者サポートセンター』

TEL42-5370 (代表) / FAX42-7400

※平日・月曜～金曜(8:30～17:00)まで

総合病院の医師を紹介します

病院事業管理者兼院長

吉原 秀一 (外科)



7月時点

呼吸器・循環器内科 (5名)

澤田 千晴
小路 祥紘
若木 富貴
三浦 尚武
石井 啓吾

消化器・血液・腫瘍内科 (6名)

副診療局長 小笠原 仁
部長 吉原 綾子
部長 山居 聖典
部長 宮澤 邦昭
副部長 星 健太郎
部長 松岡 祐介

内分泌・代謝・神経内科 (3名)

池島 進
松村 功貴
阿部 高次

外科 (院長含む7名)

大石 晋
野崎 剛
久保 寛仁
須藤 亜希子
梅村 孝太郎
吉原 悠貴

呼吸器外科 (2名)

小野 貴史
渡邊 伸之助

整形外科 (4名)

横山 徹
竹内 和成
井上 陽光
鎌田 亮

脳神経外科 (3名)

井上 秀之
古山 直也
副部長 古山 陽佑

小児科 (5名)

丹代 朋啓
澤田 理子
佐藤 龍生
細田 龍生
柳沼 ひなの

臨床検査科 (1名)

大石 祐子

産婦人科 (6名)

佐藤 麻希子
大澤 有姫
前田 寿里亜
追切 裕江
海老名 杏奈
竹ノ子 健一

泌尿器科 (3名)

副院長兼診療局長 成田 知子
部長 大石 卓也

耳鼻咽喉科 (2名)

前田 泰規
神村 明日香

神経精神科 (3名)

佐藤 靖
長山 牧子
部長 小阪 剛

麻酔科 (2名)

橋本 浩
副院長 橋本 浩

放射線科 (1名)

篠原 敦

歯科口腔外科・矯正歯科 (1名)

有馬 実咲

研修医 (16名)

工藤 賢樹
小又 咲
塩谷 大樹
田名部 甫真
田和 明日香
三浦 慶太
三上 慶太
武藤 千咲
米山 文哉
川向 真徳文
古川 結香
佐藤 啓道
白戸 碧
田村 一平
藤巻 昂太
類家 英史



診療看護師 (NP) をご紹介します

診療看護師 (NP: ナース・プラクティショナー) は、医師の指示の下で一定の診療行為を提供できる、医師と看護師の中間的役割を担う専門職です。医師不在時でも、患者さんの症状をとらえ、必要な検査や処置を行うことができます。

秋田県内で診療看護師を配置している医療機関は、当院を含む2施設のみであり、現在は2名の診療看護師が臨床研修センターに所属しています。2年間、卒後研修を行い、患者さんに必要な看護・医療を自らの判断で適切に行えるようになることを目指しています。



診療看護師の 村上光太郎です

私は、当院の看護師として14年勤務しています。大館市出身であり、今春、亡くなった祖父のかかりつけの病院も当院でした。患者の家族として、当院を受診したときに待ち時間が長く、診察が終わるとお昼を過ぎていることなどがあり、何とかならないものかと感じていました。医療者として医療資源が限られた大館の現状を理解していたことから、とても悩ましく思っていました。

そんな中、診療看護師のことを知り、生まれ育った地域の医療に貢献できるのではないかという思いから志しました。

現在は、様々な診療科で多くのことを学ぶため、研修中です。どうぞよろしくお願いたします。



診療看護師の 古川 茜です

大館市出身です。大阪で約6年、当院で約4年勤務しています。

当院に就職し、外来患者数に対する医師不足やそれに伴う医師の過労、迅速に対応できずやむを得ず待ち時間が多くなってしまふ患者さんやご家族を目にし、自分にできることは何か自問自答し続けていました。診療看護師になることにより、そのような問題に微力ながら貢献できるのではないかと考え資格取得を目指しました。

常に患者さん・ご家族の視点を持ち、質の高い医療を追求し続けるために研鑽を積んで行きたいと考えております。大館の医療に貢献できるよう一生懸命取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。



感染対策チーム (ICT)

感染対策チーム (ICT: Infection (感染) Control (制御) Team) は、感染対策の実働チームとして、感染防止対策の徹底に努め、患者さんや医療従事者などを医療関連感染から守る事を目的とし、活動をしています。

メンバーは、感染症専門医を中心に感染制御認定薬剤師、抗菌化学療法認定薬剤師、臨床検査技師、感染管理認定看護師、事務職員など多職種で構成され、院内での感染を低減させるため、それぞれの専門性を発揮し協働で感染対策に取り組んでいます。

また、定期的に会議を開催し、院内ラウンドや細菌の分離状況の把握とフィードバック、職員に対する教育などのほか、インフルエンザやノロウイルスなどのような突発的な感染症についても、話し合っています。

来院されるすべての方に安心していただけるように、院内の感染防止対策に取り組んでいます。



会議の様子

扇田病院です!

理念 地域の皆様の「心の支えとなる病院」をめざします。

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます

マイナンバーカードによる保険情報等の照会（資格確認）を行うための専用カードリーダーを受付窓口にて設置しております。操作手順がわからないなど、お困りの方は受付スタッフまでお問い合わせください。

※マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、マイナポータルから健康保険証利用の「初回登録」が必要です。

※登録方法については、「マイナポータルサイト」をご確認ください。

マイナポータル 保険証利用 [検索](#)



端末は2番窓口にて設置しています

「退院支援」を行っています

扇田病院「退院支援」部門では 入院して間もない時期から患者さん、ご家族の思いや意向を共有し、患者さんにとって「その人らしい生活が送れるように」を大切に活動しています。特に高齢の患者さんは退院できるような状態になっても、病気や障害を抱えていることが多いため、自宅療養の環境を整えることが重要です。入院中から退院後の生活上の注意点や準備について一緒に考え、患者さんやご家族が安心して生活できるよう努めています。

入院生活、退院後の生活に対しての不安や質問などご相談をお受けしております。ぜひ、お気軽にお声がけください。



【退院支援担当】 TEL55-1255 (代表)

扇田病院の医師を紹介します

院長 大本直樹

総合診療科 (院長含む6名)

診療局長 平泉
部長 金平
田中 長崎 博宣
明彦 耕和 悟

扇田病院 外来診療のご案内

曜日	月	火	水	木	金	備考
科名	受付時間 8:30~11:00 総合診療科新患と眼科は下記のとおり					
総合診療科	新患10:30まで (夕やけ)	新患10:30まで	新患10:30まで	新患10:30まで (夕やけ)	新患10:30まで	午後：急患のみ（現在通院中の患者さんに限りませ） 夕やけ診療（月・木）：17:00~18:30 （現在通院中の患者さんに限りませ）
整形外科	休診	休診	休診	休診		
耳鼻咽喉科	休診	休診	休診	休診		
眼科	8:30~10:30 ※原則第1、第3土曜日のみ					詳細は扇田病院ホームページまたは電話でご確認ください。

総合病院 外来診療のご案内

急患対応や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

- ◎新患（初めて当院を受診されるかた）はできるだけ紹介状（医療機関から発行される診療情報提供書）の持参をお願いしています。
- ◎新患で紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,650円を負担していただいておりますのでご了承願います。
- ◎新患の予約およびお問い合わせは、患者サポートセンター（代表電話 42-5370 月～金 8：30～17：15）までご相談ください。

受付時間 新患 8:30～11:00 再来 7:30～11:00

※特段の記載がない場合は、左記の受付時間になります。
 は予約が必要です。

科名		曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器・循環器内科	呼吸器	新患						新患は原則として紹介状と予約が必要です ※受け入れ制限があります。
		再来						
	循環器	新患						新患は原則として紹介状と予約（前日16時まで、月曜日の場合は金曜日）が必要です。
		再来						
消化器・血液・腫瘍内科								新患は原則として紹介状が必要です。
内分泌・代謝・神経内科		新患	9:30まで	9:30まで	9:30まで	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。 ※甲状腺外来の新患は、予約が必要です。 ※神経内科は新患、再来とも予約（前日16時まで、月曜日の場合は金曜日）が必要です。
		再来			甲状腺外来		10:00まで	
小児科								
神経精神科		新患		休診	休診			新患は原則として紹介状と予約が必要です。 ※認知症の相談は、認知症疾患医療センター（代表42-5370）にお電話ください。
		再来						
外科								
呼吸器外科		新患	10:00まで	10:00まで	10:00まで	10:00まで	10:00まで	新患の受付は10時までとなります。
		再来						
産婦人科								
眼科		新患	9:30まで	休診	9:30まで	休診	9:30まで	新患は原則として紹介状と予約が必要です。
		再来						
耳鼻咽喉科		新患	10:00まで	10:00まで	10:00まで	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状と予約が必要です。
		再来						
整形外科		新患	10:00まで	休診	10:00まで	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。 専門外来は予約が必要です。
		再来						
泌尿器科		新患	休診	休診	10:00まで	10:00まで	休診	新患は原則として紹介状が必要です。 新患、再来ともに予約が必要です。
		再来						
皮膚科			10:00まで	10:00まで	休診	10:00まで	10:00まで	
脳神経外科		新患	10:30まで	10:30まで	10:30まで	10:30まで	10:30まで	新患は原則として紹介状と予約が必要です。
		再来						
放射線科								新患は原則として紹介状と予約が必要です。 再来も予約が必要です。
歯科口腔外科 矯正歯科		新患	10:00まで	10:00まで	矯正歯科	10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状と予約が必要です。 再来も予約が必要です。
		再来						

上記の表は7月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、変更があった場合は院内への掲示とホームページへ掲載いたします。



新型コロナウイルスという未知との遭遇も3年目に突入して、時々相手の能力や特性が変わる中、世界各国で様々な対策が取られてきました。国民の協力もあり、法的強制力をあまり使わない形で、何とか自粛政策をしてきた本邦ですが、withoutコロナからwithコロナに方針は変わらざるを得ない状況になってきました。

今後も、よほど効果のある薬や対策が出ない限り、散発的なコロナの発生や増減は続き、第何波かの来襲を恐れて暮らす日々はある程度続きそうです。もちろん、当院スタッフもその家族も気を付けてい

ますが、どんな対策も可能性をゼロにはできず、感染者や濃厚接触者が出ることは防ぎきれない可能性があります。その場合、更なる拡大を防ぐため、病棟や外来の一部閉鎖など、患者さんやご家族たちに負担をおかけするかもしれません。

地域医療の最後の砦である当院の機能を維持するため、大局的にはやむを得ませんが、そのようなことが起こらないことにこしたことはありません。「最悪を想定して、楽観的に対応する」とよく言われますが、大変難しいことで、色々考えつつも、日々祈っている今日この頃です。

(広報誌編集委員長 佐藤 靖)

夏バテしない体づくり

熱中症 予防の基本

1 規則正しい食生活

夏真っ盛り、食事の準備をするのが億劫になっていませんか？食事を抜いたりすると身体に必要な栄養が不足してしまい、余計に疲れやすく夏バテしやすい身体に。また、欠食すると食事から摂取する水分も不足し、知らない間に脱水になりやすくなることもあります。

3食規則正しく摂り、身体のリズムを整えましょう。



2 バランスの良い食事を摂る

暑いからと言って「冷たいそうめんだけ」と単品で済ませていては、栄養が偏ってしまいます。バランスの良い食事の基本は主食+主菜+副菜をそろえること。

麺類やパンを食べる場合も、主食+主菜+副菜を意識して。麺には具をのせると、バランスがよくなります。



3 こまめな水分補給を

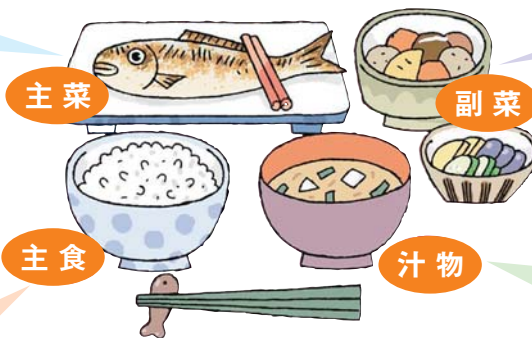
食事以外での水分摂取の目安は、一般的に約1~1.5L程度は必要です（病気により飲水制限がある場合は医師の指示に従いましょう）。起床後、食事中、食間、入浴後、就寝前などのタイミングでこまめに水分摂取するよう心がけましょう。

水分補給のおすすめは、水、麦茶などカフェインを含まない飲み物です。カフェインを含むコーヒーや紅茶、アルコールなどは利尿作用があり、かえって脱水になりやすくなることもあります。



おもにタンパク質や脂質の供給源で、体を作るもとになります。魚や脂肪の少ない肉、卵、大豆製品のどれか1つを毎食摂りましょう。

主菜



副菜

主にビタミンやミネラルの供給源で体調を整えます。野菜は1日350g必要ですがそのうち1/3は緑黄色野菜からとり、海藻やきのこなども組み合わせましょう。

主に炭水化物の供給源で、体を動かすエネルギー源になります。摂りすぎてもいけませんが、少なすぎてもバランスを崩すもとになります。ご飯・パン・麺類など適量を食べましょう

主食

汁物

塩分を摂りすぎないように、1日1杯を目安にしましょう。具沢さんにするといろいろな食品を手軽にとる事ができます。

1日の中で、牛乳・乳製品や果物も適量プラスしましょう。

夏を乗り切るレシピ 蒸し鶏とみぞれトマトのひんやりそうめん

品数を多く作らなくても、1皿で主食+主菜+副菜をそろえて食べられるお手軽レシピです。

作り方

- ★トマトはよく洗い、あらかじめ冷凍しておく。(3~4時間程度)
- ①そうめんは茹でておく。
- ②蒸し鶏は食べやすいようほぐす。茹で卵は半分に切る。
- ③オクラは茹でて、薄切りにする。
- ④茄子は竹串で数か所刺しラップでぴっちり包み、レンジ500Wで3分40秒加熱する(高温になるためやけどに注意)。冷水にとり粗熱がとれたら手で縦にさく。
- ⑤器にそうめんを盛り、②、③、④を上のにのせる。上から白ごまを散らす。
- ⑥冷凍したトマトをおろし金ですりおろす(30分程度室温に放置してからの方がおろしやすい)。そこに、めんつゆ、水を加え、器に盛って上にもんだ万能ねぎをのせる。

POINT 麺の上にトマトだれをかけて食べるのがおすすめです。
トマトを冷凍せずに、そのままおろしても美味しく食べられます。



材料
2人分

- ▶ 乾そうめん…2束(100g×2)
- ▶ 蒸し鶏(サラダチキンでも可)…80g
- ▶ ゆで卵…1個 ▶ オクラ…4本(40g)
- ▶ 茄子…1/2本(50g) ▶ トマト…中1個(200g)
- ▶ めんつゆ(2倍濃縮)…大さじ3
- ▶ 水…40ml ▶ 万能ねぎ…適量 ▶ 白ごま…適量